

## 大会実施要項の確認：ルール及び試合方法など

- ① 2022 年度日本ソフトテニス連盟ハンドブック並びに本大会の事前申合せ事項により行う。
- ② 試合は、**各 1 部の決勝リーグのみ 7 ゲームマッチ**、その他の試合は**全て 5 ゲームマッチの 3 ペア**の点取法とし、予選リーグを行った後、決勝リーグ、各トーナメント等を行います。
- ③ 試合は、**女子の 1 部が 11～14 コート、II 部が 15～16 コート**  
**男子の 1 部が 9～11 コート、II 部が 11～12 コート**で行う。
- ④ **3 ペアに満たない場合、3 試合目をオープン(負け)とする。**  
対戦が 4 名又は 5 名のみのチーム同士の対戦で 1 勝 1 敗の場合は**代表ペア(選手の構成は監督の判断で選出。)**での**対戦で勝敗を決する。**
- ⑤ オーダー表は、**全ての試合で 1 部作成し、審判に提出する。**  
試合の挨拶は**サービスラインまで前進し、オーダー提出の際はネット付近で審判に提出**をする。  
**オーダー提出後は速やかにサービスラインに戻る。**  
相互審判の際は**代表者(キャプテン)がサービスラインから一歩前に出て、ジャンケンを行う。**
- ⑥ 全ての試合の審判は**相互審判**とし、最初の整列時に、ジャンケンで勝った学校が第①、第③試合の「正審」、負けた学校は、第②試合の「正審」とする。  
**(追加)→女子 II 部の決勝のみ敗者審判とします。⑪⑫の敗者から各 2 名を選出してください。**
- ⑦ ベンチは、**若番(番号が小さい方)が山側**とし、得点板は、それぞれの学校で担当する。  
その際、**得点板が本部から見えるようにすること。(得点板の前には立たない!)**  
また**コート横の得点盤はゲームカウント**を掲示する。得点盤は**若番が赤、後番が黒**とします。
- ⑧ **チェンジサイズ時のアドバイスは、ベンチのところで行う。(一分以内)**  
この際、給水も同時に行う。
- ⑨ **サイドコーチ(フェンス外からのアドバイス)の禁止。**→保護者、応援の方へ徹底して下さい。
- ⑩ **正審は、大きな声でコールすること。**
- ⑪ 副審のサインは、明確に行うこと。  
「イン」のボールに対しては、原則としてサインはしない。  
中途半端なサインは行わない自信をもってはっきりとジャッジすること。
- ⑫ **判定権限を持たないジャッジは、絶対に行わないこと。**  
例：副審がベースラインアウトの判定など。
- ⑬ 試合終了後、**ジャッジペーパーと両校のオーダー表の計 3 枚を、勝った学校の代表者が、本部へ提出する。(勝者サインは不要。)**
- ⑭ 今大会は試合中の声出しは可とします。但し、応援は拍手のみとさせていただきます。
- ⑮ **服装：日本ソフトテニスハンドブックの規定に反しないもの。セッケンを必ず着用。**  
(新入生等の場合は代用可。代用の仕方は要項に記載しております。)